

■基礎的な確認事項

項 目		要確認事項
原子炉内の冷却状況	1～3号機	* 温度の推移、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間 * 再臨界のリスクとその対応（従来からの変更点があれば）
使用済燃料の冷却状況	1～3号機使用済燃料プール	* 使用済燃料の保管量、冷却系停止時の温度上昇予測（1時間当たり温度上昇）、制限温度到達までの時間
	5～6号機使用済燃料プール	
	共用プール	
	キャスク仮保管設備	* 使用済燃料の保管量 * 警報等の発出状況とその原因
放射性物質の放出状況	原子炉建屋からの放出	* 各号機建屋からの新たな放出の状況（敷地境界モニタリング結果）
	海洋への放出	* 港湾内外の海水モニタリング結果
緊急時対応能力		* 緊急時対応訓練の実施状況 * 緊急時用資機材等の導入等（従来からの変更点があれば）
要員確保・作業環境改善		* 作業要員の確保状況、作業環境の改善状況（従来からの進展等があれば）

■廃炉工程の進捗に伴う確認事項

項 目	●最近の状況 ○今後の予定		要確認事項
使用済燃料プールからの燃料取り出し	1号機	●2018年1月よりオペフロ北側のガレキ撤去開始。 ○ウェルプラグ（原子炉格納容器の上蓋の上に被せるコンクリート製の蓋）調査を実施	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	2号機	●オペフロ内アクセス用開口設置作業を完了(2018.6.21)。 2018年11月～2019年2月にオペフロ内調査を実施。 ○オペフロ南側よりオペフロ内にアクセスする工法を検討。	* オペフロ内調査の調査結果 * 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	3号機	●4月より新燃料の取り出し作業開始。新燃料54体のうち7体を共用プールへ移動完了。 ○7月～2回目取り出しを実施予定。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	4号機	●2014年に取り出し済み。	-
	5/6号機	●5号機1,542体、6号機1,654体の燃料保管中。 ○6号機新燃料の解体・除染作業を2019年9月下旬～再開	* 新燃料搬出の予定、及び想定されるリスクとその対応
燃料デブリ状況把握・取り出し工法検討	1号機	●2017年3～4月に格納容器内堆積物サンプリング。元々、格納容器内部に存在していた元素を確認。 ●原子炉格納容器内部調査に向けたアクセスルート構築のためのX-2ペネトレーション外扉孔あけ作業完了。 ○内扉孔あけ作業に向け、内扉前堆積物除去、穿孔装置設置	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	2号機	●2019年2月、格納容器内の堆積物の接触調査。 ●短時間の原子炉注水停止を実施（5月13～24日）、温度上昇0.2℃/h以下と予測と同等であることを確認。	* 接触調査結果の概要 * 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	3号機	●2017年5～9月、ミュオン測定実施。炉心域に大きな塊なし、圧力容器底部に一部燃料デブリ存在の可能性。 ●2017年7月、調査ロボットによる格納容器内部調査で、構造物・壁面に損傷確認されず。線量は他号機と比べて低いことを確認。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
汚染水対策	建屋滞留水処理	●1・2号機、3・4号機、滞留水移送装置設置作業中。	* 今後の作業予定、及び想定されるリスクとその対応
	ALPS等	●汚染水(RO濃縮塩水)の処理完了(2015.5)。ストロンチウム処理水の処理を実施中。 ●ストロンチウム処理水98,827m <sup>3</sup> （タンク129基）、ALPS等処理水1,044,430m <sup>3</sup> （同810基）保管中。2020年末までのタンク設置計画は約137万m <sup>3</sup> 。（7月初旬現在） ○第三セシウム吸着装置（SARRY II）を設置、7月上旬から運用開始予定。	* 処理施設の稼働状況、これまでの処理量・今後の処理見込量 * ALPS処理水（トリチウム水）の今後の取扱いに関する現状の検討・協議状況
	サブドレン	●サブドレン配管二重化を実施中（～2019年9月）。	
	凍土壁	●2018年3月、深部の一部を除き完成。未凍結箇所補助工法は同年9月に完了。 ●維持管理運転2019年2月21日全域展開完了。	
	大雨時汚染水発生抑制		* 大雨時の汚染水発生状況、その対応状況 * 流入経路の抽出・対策の状況
	フランジタンク解体・リプレイス	●フランジ型タンク内のALPS処理水について、溶接型タンクへの移送が完了（3月27日）。	
その他	1/2号機排気筒	●5月11日、解体装置を排気筒最頂部に設置できないことが判明。	* 計画どおりに設置できなかった要因分析結果、今後の対応予定
	津波対策	●津波リスク低減のためメガフロート移動工事着手(5月～) ○千島海溝津波対策のため高さ11mの防潮堤を増設予定。	* 津波対策の計画・進捗状況